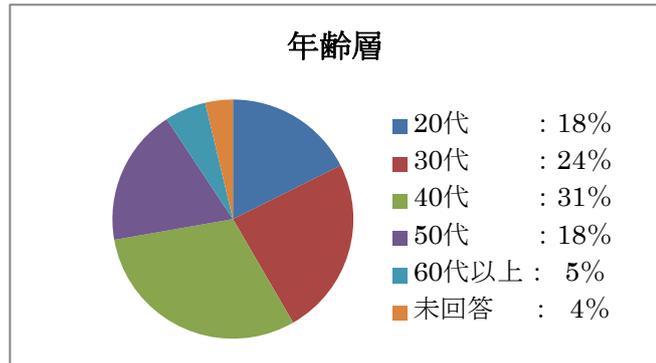
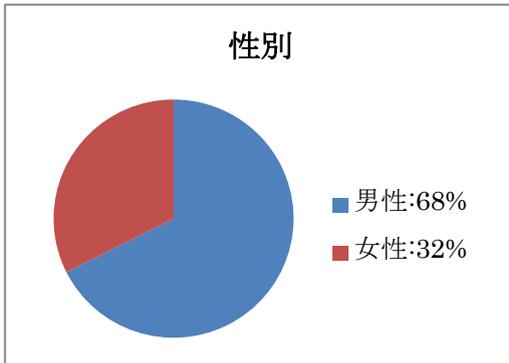


# アンケート集計

対 象：第2回長崎市地域おこし協力隊活動報告会参加者  
回収数：108名

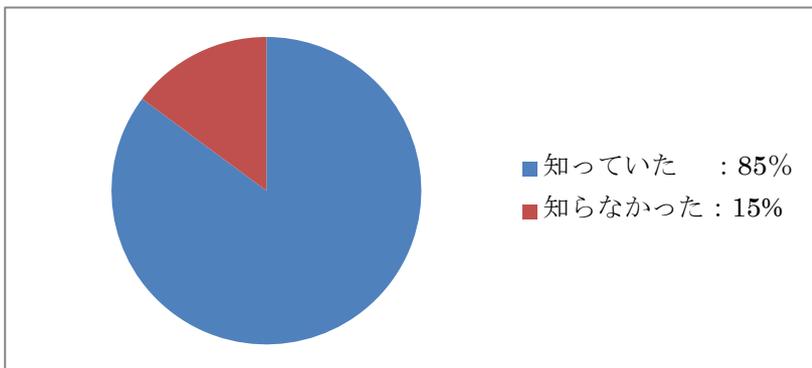
1. ○をつけてください。

性別：男性・女性      年齢：10代・20代・30代・40代・50代・60代以上



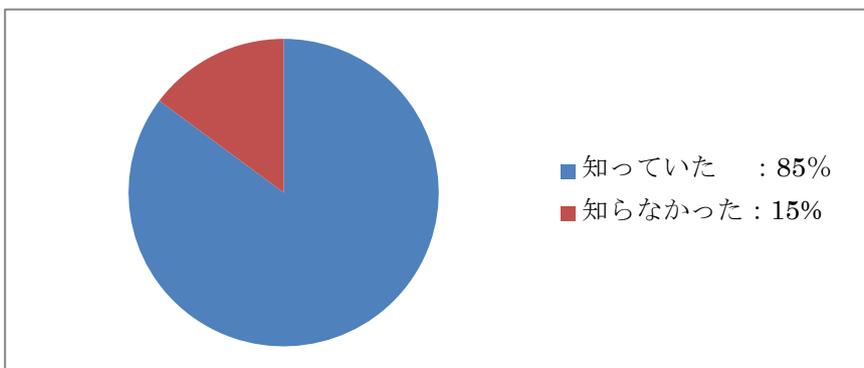
2. 地域おこし協力隊を知っていましたか。

知っていた      知らなかった



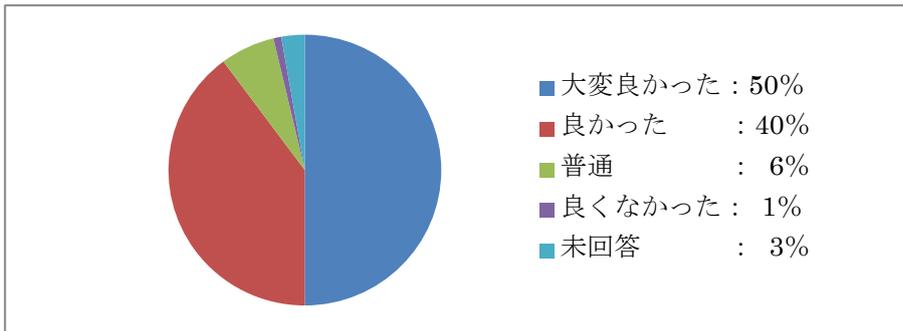
3. 長崎市に地域おこし協力隊がいることを知っていましたか。

知っていた      知らなかった



4. 活動報告会に参加しての感想を教えてください。

大変良かった 良かった 普通 良くなかった 悪かった



(理由)

大変良かった	制度の理解ができた 実際の活動から見えてくるものを聞くことができた 隊員の前向きな姿勢・情熱が感じられた 多くの課題も知れた 隊員の生の声を聞くことができた 隊員の努力・想いがわかった 地域おこしに寄与してもらいありがたい 発表がわかりやすかった 行政に求めていることが分かった 隊員が個性的でおもしろい 豊かな発想をきくことができた 刺激を受けた 高レベルで地道な活動がすごい
良かった	隊員の資質に応じた貢献度を知れた 隊員のパワーを有効活用してほしい サポートの必要性がわかった 行政があまり支持できていないを感じた 行政が活動を支援していることがわかった 隊員・担当者あわせて聞けたため 都心の方が長崎をどう見るか視点をしれた
普通	全員の報告を希望する 隊員と直接コミュニケーションをとれる場がほしい 報告内容が報告者によって異なる
良くなかった	価値を押し付けられているように感じた 活動が無駄に感じた 時間が短い 一般に向けもっと情報発信をすべきだった

5. どの活動が一番印象に残りましたか。

高島地区	<p>音楽やアートで地元の方にとって楽しい3年になったと感じた          音楽や自然体験など楽しそうで高島に行ってみたいと感じた          実際に音楽を通して島川さんと知り合いになった方が大勢いるため          外の風を受け入れやすくする活動は長崎に適していて大事だと感じた          アートの町になれると感じた          アーティストが来ることでそれを見に来る人等、交流人口の拡大に期待</p>
野母崎地区	<p>本人と地域と行政が一つになっているように感じた          コーヒーから広がるコミュニケーションがすごいと感じた          リップルで地域が活気づいている          リップルに行きたいと感じた          担当のサポート力もすばらしいと感じた          交流人口の拡大に期待できる          残すことが活かす財産につながると感じた</p>
池島地区	<p>保存が急がれることがわかった          行政への問題提起がわかった          想いがあるからこそその悔しさが伝わりいろんな意味で考えさせられた          島の魅力を伝える活動が印象に残った          貴重なデータを整理して頂き市の財産になったと思う          ロケ誘致に驚いた          隊員のポテンシャルが高いと感じた          現状と課題が明確でわかりやすかった          実際にメディアで池島を見る機会が増えたと感じる          残すことが活かす財産につながると感じた</p>
琴海地区	<p>地元学の考え方がわかった          「住」の大切さを感じた          琴海の美しさを発信している          地域に受け入れられていると感じた          担当のサポート力もすばらしいと感じた          自分が主体ではなく地域の方の変化を支援していると感じた          地域とともに活動していると感じた          いなカフェへの期待がもてる</p>
全 　　て	<p>隊員の熱い想いが込められた報告だった          今後に向けて多くのヒントがあった          地域への愛、地域とのつながりが感じられた          兼業ができないということ。してもいいのでは。          隊員の熱意と熱意のある人を受け止める行政の姿勢が大事だと感じた          制約のあるなかでポリシーをもって活動していた</p>

6. 地域おこし協力隊と連携できそうな事業があれば教えてください。

- ・ 他市、他県の地域おこし協力隊員とコラボしては
- ・ アーカイブ事業
- ・ 歴史のほりおこし
- ・ 特産品づくり
- ・ 外の人を取り込むための受け入れ体制の整備
- ・ 農協とのまつりの参加
- ・ 地区と地区の連携
- ・ 広報ながさきの連載記事として隊員の活動紹介コーナーを設ける
- ・ シェアハウス
- ・ 観光素材としての活用
- ・ 空き家活用
- ・ 景観啓発
- ・ ハザードマップ作り
- ・ ながさきエコライフフェスタ
- ・ 空き家対策を考え、隊員の住居を確保する
- ・ 水産加工品の他グリーン/ブルーツーリズムの活用を企画予定（地域雇用創造協議会）
- ・ 観光ガイド
- ・ 炭鉱さるくと池島めぐりで島にお金が落ちる仕組みを
- ・ 長崎の自然科学を対象に活動してほしい
- ・ 水産関係で連携したい
- ・ 地域の方しか知らない風景の旅行を商品化してほしい
- ・ 長崎コンへ地域の人々に参加を呼び掛けることで交流の拡大をはかる
- ・ 土地の寄付の相談をうけるため有効活用できる方法があれば協力したい。（用地課）
- ・ 携帯事業（タブレット活用）
- ・ 長崎の魅力を発信し、観光を食で新たな雇用・職を創造する事業（商工・水農）
- ・ 協力隊と一般の方が話せる機会を作ればたくさんでてくると思う。

7. その他（何でも結構ですのでご自由にお書きください。）

知らない方が多いが、いい活動なのでもっとアピールすべき  
広げてほしいし、オール長崎で実行できるといい  
担当に地域振興部長が良いのでは  
市長付にして自由に動かしてあげてほしい  
行政への課題に対してなぜそうなったのかを考え、行政もレベルを上げなければならない  
行政センターの職員配置の問題もあると思う  
行政に動いてほしい  
「住」の重要性を痛感した  
欠席の方はビデオでプレゼンしてほしい  
地域ごとに温度差を感じた  
質疑応答がないのが残念  
発表者の入替がスムーズでない  
観客席側の明かりを暗くしてもらったがみやすい  
外から見た長崎の魅力に気づかせてもらえてありがたい  
課題を次に活かしてほしい  
隊員も担当者も双方の力がもっと発揮できる環境をつかってほしい  
隊員の報告のみで充分  
過疎化と定住政策は大きな課題なので全庁で意見交換をし政策の立案が必要  
隊員と担当者が対話形式の方が流れができていいのでは  
行政センター便りでしました。楽しみにしています  
マンパワーってすごいと感じました  
情報発信をもっと強化すべき  
次回は協力隊×行政としてそれぞれ何ができたか、課題は何かに絞って発表してほしい  
空家はたくさんあるから多くの人を受け入れることができると思う  
発表後の評価の目的が不明  
隊員は専門家ではないから頑張っているが難しいと思う  
市役所の批判をすることで自分の活動を否定しているように感じた  
隊員のみなさんとフランクに話せる場がほしい  
プレゼンの時間を守ってほしい  
次回の募集について情報発信を明確にしてください。

ご協力ありがとうございました。